慣用句の きまりを 見つけよう①

同じ 体の ぶぶんの ことばを あつめよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

同じ 体の ぶぶんの 慣用句を 5つ 読んで、ぜんぶに 当てはまる「きまり」を 1つ 見つけよう。

「きまりの 箱」の ア～カから えらんで、5つに つき 記号を 1つ、右の □に 書こう。

きまりの 箱

ア 話す・ことばを つかう・つたえる	イ ひょうばん・つきあい
ウ 見る・見わける	エ 気もちの うごき
オ あつかう・せわ・てつだい	カ 聞く・聞きとる

れい 目の ことば　3つとも 見る・見わける はなし → ウ

		きまりは？
目が利く	＝ よい ものと わるい ものを 見わける ことが できる	ウ
目を配る	＝ ぜんたいに 気を くばって、あちこちを 見る	
目が泳ぐ	＝ ふあんで、視線が おちつかない	

問1 手の ことば

		きまりは？
手に余る	＝ 自分の ちからでは かたづけきれない	□
手に負えない	＝ 相手の いきおいが 強すぎて、かたづけられない	
手玉に 取る	＝ 相手を 思いどおりに あやつる	
手塩に かける	＝ 自分で 世話を して、たいせつに 育てる	
手綱を 引く	＝ 相手を きびしく かんりして、いきおいを おさえる	

問2 顔の ことば

		きまりは？
顔が売れる	＝ 広く 知れわたって、ゆうめいに なる	□
顔を売る	＝ 自分の 名前や ことを、広く 知ってもらう	
顔が きく	＝ 知り合いが 多くて、とくべつに よく して もらえる	
顔が 立つ	＝ みんなの 前で、立場が 守られる	
顔を潰す	＝ 相手の 立場を わるく して、はじを かかせる	

問3 きまりに 合うかな？

手の ことばは 問1、顔の ことばは 問2 で えらんだ きまりに 合えば ○、合わなければ ×を □に 書こう。

(1) 手前味噌	＝ 自分で 自分の した ことを、人に ほめて 言う こと	□
(2) 手中に収める	＝ 自分の ものにして、思いどおりに できる ようにする	□
(3) 顔を つなぐ	＝ 知り合いとの かんけいを たもつ	□
(4) 顔を曇らせる	＝ しんぱいや かなしみで、くらい 表情を する	□

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句の 例外を さがそう②

合わない ことばを 見つけよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

同じ 体の ぶぶんの 慣用句の 中に、問ごとの きまりに 合わない ことばが 1つ まざって います。

①合わない ことばの 左の 番号を、右の 上の □に 書こう。

②その ことばは ほんとうは どの きまり?「きまりの 箱」の 記号を、右の 下の □に 書こう。

きまりの 箱

ア 話す・ことばを つかう	イ 気もちの うごき
ウ 考える ちから・考え方	エ ものごとの のび・とまり
オ 見る・見わける	カ 聞く・聞きとる

問1 口の ことば

口の ことばは「ア 話す・ことばを つかう」の はなしが 多い。

(1) 口を 開く ＝ 今まで だまって いた 人が、話しはじめる

(2) 口が 悪い ＝ 言葉づかいが あらくて、人を きずつける ことを 言う

(3) 口を 閉ざす ＝ 何も 言わない ように する

(4) 口を 尖らせる ＝ ふまんな 気もちを 顔に 出す

(5) 口を 利く ＝ 話を して、人と 人の なかだちを する

合わない ことばの 番号 □

その ことばの きまり □

問2 頭の ことば

頭の ことばは「ウ 考える ちから・考え方」の はなしが 多い。

(1) 頭が 固い ＝ 考えが かたまって いて、その ばに 合わせて 考えられない

(2) 頭打ちに なる ＝ ものごとの のびが とまって、もう のびなく なる

(3) 頭が 切れる ＝ 考える ちからが すぐれて いて、はんだんが はやい

合わない ことばの 番号 □

その ことばの きまり □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句を きまりで 考えよう③

はじめて 見る ことばを 考えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

(1)〜(6)の ことばの 意味を、下の きまりを 手がかりに 考えよう。

ア〜ウは 意味の こうほです。ア〜ウから 1つずつ えらんで、右の □に 記号を 書こう。

この きまりは「だいたい 当てはまる」めやすです。

きまり

腕の ことばは「うでまえ・ぎじゅつ」の はなしが 多い

鼻の ことばは「自信・自慢・いばる」ようすの はなしが 多い

この プリントの ことばは、ぜんぶ きまりに 合う ことばです。

(1) 腕に 覚えが ある

ア うでに のこった きずあとを おぼえて いる

イ 自分の うでまえに 自信が ある

ウ 自分は えらいと 思って、いばって いる

□

(2) 腕に よりを かける

ア 自慢して、まわりの 人に いばって 見せる

イ うでに 糸を よりあわせて 太く する

ウ うでまえを 見せようと はりきって じゅんびを する

□

(3) 腕利き

ア しごとの うでまえが すぐれて いる 人

イ うでの ちからが とても 強い 人

ウ えらそうに いばって いる 人

□

(4) 腕自慢

ア 太い うでを 見せて 友だちを わらわせる こと

イ えらそうに いばって 人を 見下す こと

ウ 自分の うでまえを 人に ほこる こと

□

(5) 鼻持ちならない

ア はなの においが きつくて、がまん できない

イ えらそうで いやみな ようすが、見て いられない

ウ うでまえが わるくて、しごとが はかどらない

□

(6) 鼻っ柱が 強い

ア 気が 強くて、人に まけたがらない

イ ぎじゅつを みがいて、うまく なる

ウ はなの ほねが かたくて、おれにくい

□

話す・聞くの ことばを わけよう④

体の ぶぶんの きまりを 使おう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

(1)〜(7)の 意味を 読んで、「きまりの 箱」の ア・イ・ウから 1つ えらび、右の □に 書こう。

話す はなしは ア、聞く はなしは イ、どちらでも ない はなしは ウ。

ことばの はじめの 字（体の ぶぶん）だけで 決めると、まちがう ことが あります。

きまりの 箱	ア 話す・ことばを つたえる はなし イ 聞く・聞きとる はなし ウ どちらでも ない はなし

れい

舌(した)を 出す ＝ しっぱいした ときや、からかう ときに する しぐさ

きまりは？ **ウ**

つぎの ことばは、ア・イ・ウの どれかな？

(1) **耳に 残(のこ)る** ＝ 聞いた 音や ことばが、いつまでも わすれられない □

(2) **歯に 衣着(きぬ)せぬ** ＝ えんりょ しないで、思った ことを ずけずけ 言う □

(3) **耳目を 集める** ＝ 多くの 人の 関心(かんしん)や 注目を あつめる □

(4) **耳を ふさぐ** ＝ 聞きたく ないので、聞く ことを ことわる □

(5) **口を 糊(のり)する** ＝ やっとの ことで くらしを 立てる □

(6) **口裏(うら)を 合わせる** ＝ 前もって そうだんして、言う ことを そろえる □

(7) **耳朶(じだ)に 触(ふ)れる** ＝ ふと 耳に 入って、聞き知る □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(かんようく)の きまりを 書こう⑤

きまりを 文に して 書こう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問1・問2とも、4つの ことばの 意味から きまりを 見つけ、それぞれの 下の 線に 1文で 書こう。

書き方 〔 〕に ことばを 入れて 書く。〔体の ぶぶん〕の ことばは、〔どんな はなし〕が 多い。

れい 腕(うで)の ことばは、うでまえの はなしが 多い。(1～2行で 書けます。線は あまっても よい)

問1 胸(むね)の ことば

(1) 胸(むね)が 潰(つぶ)れる ＝ かなしさや しんぱいで、たまらなく くるしくなる

(2) 胸(むね)が 騒(さわ)ぐ ＝ わるい よかんが して、おちつかない

(3) 胸(むね)に 秘(ひ)める ＝ 心の 中に しまって おいて、人には 言わない

(4) 胸(むね)を 焦(こ)がす ＝ あることを 強く 思って、せつなく なる

この 4つに 当てはまる「きまり」を、文に して 書こう。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問2 目の ことば

(1) 目を 向ける ＝ あることに 気づいて、注意を はらう

(2) 目星を つける ＝ だいたいの 見当を つけて、ねらいを 決める

(3) 目処(めど)が 立つ ＝ これから どうなるか、見とおしが つく

(4) 目端(めはし)が 利(き)く ＝ その 場の ようすに すばやく 気づいて、うまく うごく

この 4つに 当てはまる「きまり」を、文に して 書こう。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます